

安全データシート

ヘキサフルオロイソプロパノール

改訂日:
2023/09/11

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : ヘキサフルオロイソプロパノール

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称 : ダイキン工業株式会社

住所 : 大阪府大阪市北区梅田一丁目 13 番 1 号
大阪梅田ツインタワーズ・サウス 530-0001

電話番号 : +810661479702

電子メールアドレス :

FAX 番号 : +810661479807

緊急連絡電話番号 : +810663497521

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 原材料

使用上の制限 : 工業用のみ。

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

皮膚腐食性／刺激性 : 区分 1A

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : 区分 1

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。
H318 重篤な眼の損傷。

注意書き : 応急措置:

P303 + P361 + P353 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。

P304 + P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

安全データシート

ヘキサフルオロイソプロパノール

改訂日:
2023/09/11

P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P310 直ちに医師に連絡すること。

保管:

P405 施錠して保管すること。

廃棄:

P501 内容物／容器を承認された処理施設に廃棄すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 化学物質

成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS) / 安衛法 (ISHL) 番号
ヘキサフルオロイソプロパノール	920-66-1	>= 99	2-291

4. 応急措置

吸入した場合 : 過熱や燃焼で発生した煙霧（ヒューム）を誤って吸入した場合は、新鮮な空気のある場所に移す。

皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣服と靴を脱ぐ。
温水と石けんで洗い流す。
症状が持続する場合は、医師に連絡する。

眼に入った場合 : 直ちに、眼を十分な流水で、勢いよく洗い流す。
眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。

飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。
無理に吐かせないこと。
症状が持続する場合は、医師に連絡する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。

使ってはならない消火剤 : 情報無し。

特有の危険有害性 : 毒性、刺激性および/または腐食性ガスを放出する可能性がある。

特有の消火方法 : 安全であれば未損傷コンテナを火災領域から離す。

安全データシート

ヘキサフルオロイソプロパノール

改訂日:
2023/09/11

消火を行う者の保護 : 火災時には、自給式呼吸器を着用する。
製品の分解物にさらされると、健康に危害を及ぼす可能性がある。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 十分な換気を確保する。
こぼれやもれが起きている場所から風上に避難させる。
人々を即時に安全な場所に避難させる。
保護具を使用する。

環境に対する注意事項 : 環境中に排出してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : クリーンアップ方法－小規模の流出

漏出物を閉じ込め、不燃性吸収剤（例えば、砂、土、珪藻土、バーミキュライト）で吸収し、地域/国家の規則（項目13を参照）に従い廃棄するために容器に移す。

クリーンアップ方法－大規模の流出

流出しないように土手で囲む。漏れたものを安全な場所に誘導し、回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 設備対策を行い、保護具を着用する（「8. 暴露防止及び保護措置」参照）。

火災及び爆発の予防 : 発火源から離しておいてください－禁煙。

安全取扱注意事項 : 適切な換気装置の下でのみ使用する。
物理的衝撃からコンテナを保護する。
各製品の取扱いと保管には、添付の製品安全データシートを参照する。

接触回避 : データなし
衛生対策 : 休憩前や終業時には手を洗う。
使用中は飲食しないこと。
タバコ製品から遠ざける。

保管

安全な保管条件 : 乾燥した、涼しい、換気の良い場所で、容器の栓をしっかりと

安全データシート

ヘキサフルオロイソプロパノール

改訂日:
2023/09/11

安全な容器包装材料	閉めて保管する。 耐溶剤性の床に置く。 栓をしっかり閉める。 涼しいところに置き、日光から遮断すること。 施錠して保管すること。 ： 適した材質: 知見なし。
-----------	--

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

許容濃度が設定されている物質を含有していない。

保護具

呼吸用保護具	： この製品の蒸気にさらされる危険性がある作業では、呼吸用保護具を使う。
フィルタータイプ	： 有機蒸気用タイプ 製品が加熱され、生ずる分解生成物中に人体が暴露される場合は有機酸性ガス用防毒マスク（場合によってはエアラインマスク）を使用する。

手の保護具

材質	： ゴム製手袋
----	---------

眼の保護具

皮膚及び身体	： 密着性の高い安全ゴーグル
--------	----------------

保護具	： 保護服
-----	-------

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	： 液体
色	： 無色
臭い	： 不快臭
融点／凝固点	： -4 °C
沸点又は初留点及び沸騰範囲	： 59 °C (1,000 hPa)

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界

爆発範囲の上限 / 可燃上限	： データなし 値
----------------	--------------

爆発範囲の下限 / 可燃下限	： データなし 値
----------------	--------------

引火点	： 引火しない。
-----	----------

自己発火性	： データなし
-------	---------

安全データシート

ヘキサフルオロイソプロパノール

改訂日:
2023/09/11

分解温度	: データなし
pH	: 6.1 (20 °C) (10%水溶液として)
可燃性 (液体)	: データなし
粘度 動粘度 (動粘性率)	: データなし
溶解度 水溶性	: 完全に混和性である
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び／又は相対密度 比重	: 1.596 (20 °C)
相対ガス密度	: データなし
粒子特性 粒子サイズ	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の周囲室温および圧力では安定。
化学的安定性	: 通常の状態では安定。 熱により分解。
危険有害反応可能性	: 合理的に予想できるものは、なにもない。
避けるべき条件	: 熱、炎、火花。
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: フッ化水素 ハロゲン化化合物

11. 有害性情報

急性毒性

製品:

急性毒性 (経口)	: LD50 (マウス): 600 mg/kg
急性毒性 (吸入)	: LC50 (ラット): = 1974 ppm 曝露時間: 4 h

安全データシート

ヘキサフルオロイソプロパノール

改訂日:
2023/09/11

試験環境: 粉じん/ミスト

急性毒性（経皮） : 備考: データなし

皮膚腐食性／刺激性

製品:

備考 : データなし

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

製品:

備考 : データなし

呼吸器感作性又は皮膚感作性

製品:

備考 : データなし

生殖細胞変異原性

製品:

in vitro での遺伝毒性 : 備考: データなし

発がん性

製品:

備考 : データなし

生殖毒性

製品:

妊娠に対する影響 : 備考: データなし

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

製品:

備考 : データなし

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

製品:

備考 : データなし

安全データシート

ヘキサフルオロイソプロパノール

改訂日:
2023/09/11

反復投与毒性

誤えん有害性

製品:

データなし
備考

: データなし

詳細情報

製品:

備考

: データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

製品:

魚毒性

: LC50 (Fundulus sp. (メダカ)): 270 mg/l
曝露時間: 48 h

LC50 (ファットヘッドミノー): 244 mg/l
曝露時間: 96 h

残留性・分解性

製品:

生分解性

: 接種: 活性汚泥
動的:
: 100 %
方法: OECD 試験ガイドライン 302B
GLP: 非該当

生体蓄積性

製品:

生体蓄積性

: 種: 魚類
生物濃縮因子 (BCF) : 2.7

土壌中の移動性

製品:

環境中の分布

: 備考: データなし

安全データシート

ヘキサフルオロイソプロパノール

改訂日:
2023/09/11

オゾン層への有害性

製品:

オゾン層破壊係数 : 備考: データなし

他の有害影響

製品:

生態系に関する追加情報 : データなし

内分泌かく乱特性

データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

残余廃棄物 : 関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装 : 空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた廃棄物処理業者に委託する。

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送 (UNRTDG)

国連番号 (UN number) : NA 1760
国連輸送名 (Proper shipping name) : CORROSIVE LIQUID, N. O. S.
国連分類 (Class) : 8
容器等級 (Packing group) : I
ラベル (Labels) : 8

航空輸送 (IATA-DGR)

UN/ID 番号 (UN/ID number) : NA 1760
国連輸送名 (Proper shipping name) : Corrosive liquid, n. o. s.
国連分類 (Class) : 8
容器等級 (Packing group) : I
ラベル (Labels) : Corrosives
梱包指示 (貨物機) (Packing instruction (cargo aircraft)) : 854

海上輸送 (IMDG-Code)

国連番号 (UN number) : NA 1760
国連輸送名 (Proper shipping name) : CORROSIVE LIQUID, N. O. S.
国連分類 (Class) : 8
容器等級 (Packing group) : I

安全データシート

ヘキサフルオロイソプロパノール

改訂日:
2023/09/11

ラベル (Labels) : 8
EmS コード (EmS Code) : F-A, S-B
海洋汚染物質 (該当・非該当) : 非該当
(Marine pollutant)

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)
供給された状態の製品には非該当。

国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

特別の安全対策

備考 : 物理的衝撃からコンテナを保護する。
ここに提供されている輸送分類は、情報の目的だけのため、本安全データシートの中で解説されるように開梱された材料の特性のみに基づいています。輸送分類は、交通手段、パッケージサイズと地域や地方の規則の変更により、変更される可能性があります。

緊急時応急措置指針番号 : 154

15. 適用法令

関連法規

消防法

危険物、指定可燃物に該当しない。

化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質 (既存化学物質)

非該当

変異原性の認められた化学物質 (新規届出化学物質)

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物

非該当

安全データシート

ヘキサフルオロイソプロパノール

改訂日:
2023/09/11

皮膚等障害化学物質 不浸透性の保護具等の使用義務物質（労働安全衛生規則第 594 条の 2）

非該当

がん原性物質（労働安全衛生規則第 577 条の 2）

非該当

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危規則第 2, 3 条危険物告示別表第 1: 腐食性物質

航空法

施行規則第 194 条危険物告示別表第 1: 腐食性物質

高圧ガス保安法

非該当

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 有害液体物質には該当しない

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

16. その他の情報

本 SDS において労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます。

詳細情報

安全データシート

ヘキサフルオロイソプロパノール

改訂日:
2023/09/11

その他の情報

: 当製品は、工業用途として開発されたもので、それ以外の使用について、その安全性を保証するものではありません。本製品を医療用途、食品用途などにお使いの場合は弊社まで事前にご連絡ください。この SDS は、一般的な取扱いを前提に作成したものです。取り扱う際は、ここに記載されている内容を参考にし、十分注意して取り扱ってください。また、記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の情報は保証値ではありません。危険有害性情報は、全ての情報を網羅しているわけではありません。また、新しい知見に基づき改訂されることがあります。

JP / JA